

## D-01 絵言葉で話そう

**講師** 則武 輝彦 (ノリタケ テルヒコ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース 教授

**科目** デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他

**可能日** 要相談

**形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

普段私たちは、当たり前のように文字や言葉を使いコミュニケーションをしますが、突然その文字や言葉がなくなったら、どのようなコミュニケーションが生まれるのでしょうか。みなさんには、文字や言葉を使わず絵文字で会話をしてもらいます。その体験から言葉や文字のなりたちについて考えてみましょう。

### 【必要機器】

プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

### 【受講される方にひとこと】

3-4人のグループを作り、ゲーム形式で遊びながら学べます。

## D-02 見ることの不思議

**講師** 則武 輝彦 (ノリタケ テルヒコ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース 教授

**科目** デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他

**可能日** 要相談

**形式** 講義

### 講義内容

当たり前のように不思議な視覚の世界を一つひとつ分解し、そこに潜む視覚の法則を解説します。またその法則を使ってデザイナーがどのようにコミュニケーションを生み出しているか、そのコツのようなものもお話します。

### 【必要機器】

プロジェクター、スクリーン

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

### 【受講される方にひとこと】

視覚効果をデザイナーがどのように利用しているのか実例とともに解説します。

## D-03 印刷を体験してみる

**講師** 片山 浩 (カタヤマ ヒロシ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーション、ヴィジュアルデザイン 准教授

**科目** デザイン実技Ⅲ～Ⅳ (ILVD)、美術実技Ⅲ (石版画)、印刷論

**可能日** 要相談

**形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

印刷は現代社会においても重要なメディアですが、体験したことがある人は少ないかもしれません。もしあなたの学校にプレス機が眠っているのならそれを使って印刷体験をしてみましょう。

### 【必要機器】

版用プレス機、ローラー、インクなど (設備は要相談)

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
スケッチブック、筆記用具

### 【受講される方にひとこと】

写し取ること、印刷することを楽しみましょう

## D-04 アートブック制作の現場から

**講師** 遠藤 一成 (エンドウ カズナリ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース 准教授

**科目** 卒業制作、デザイン実技Ⅰ～Ⅳ、デザイン基礎演習

**可能日** 月曜日

**形式** 3時間20分の講義

### 講義内容

実社会でグラフィックデザイナーがどのようにアートブックを制作しているのか?日本の出版社から発行された写真集の制作事例を元に講義形式で解き明かします。

### 【必要機器】

大型モニターもしくはプロジェクター、マイク、Macとの配線ケーブル。

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

### 【受講される方にひとこと】

個人の想いがどのようにデザインという行為によって形を与えられて、他者や社会と繋がっていくのかをお話します。

## D-05 世界と日本のイラストレーションの歴史

**講師** ナカノ ケン

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース 准教授

**科目** デザイン実技Ⅰ-1、デザイン実技Ⅲ-2、デザイン実技Ⅳ、卒業制作

**可能日** 月曜日・火曜日

**形式** 講義

### 講義内容

洞窟画や絵巻物からクリエイターズ・エコノミーまで、動画などを交え世界と日本のイラストレーションの歴史を紐解きます。各界で活躍しているイラストレーションコースの在学生や卒業生の作品も紹介します。

### 【必要機器】

プロジェクター、スクリーン

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

### 【受講される方にひとこと】

特になし

## D-06 イラストレーションと線の関係

**講師** 佐久間 友香 (サクマ ユウカ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース 講師

**科目** デザイン実技、イラストレーション 他

**可能日** 要相談

**形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

魅力あるイラストレーションを構成する要素はいくつもありますが、線もその要素のひとつです。ディックブルーナの作品の線画模写を通じて、魅力ある線について学びます。

### 【必要機器】

プロジェクター

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

ケント紙、水彩絵の具道具一式

### 【受講される方にひとこと】

イラストにおける線の重要性を体験してみてください。

## D-07 見ること、描くこと

**講師** 臼井 拓朗 (ウスイ タクロウ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ファンデーション/ メディアコミュニケーションデザインコース 准教授

**科目** デザイン実技、卒業研究 他

**可能日** 要相談

**形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

私たちは当たり前のように絵を描きますが、何を見て、何を考えて描いているのでしょうか。そんな描くことや表現することへの入り口を、簡単なドローイングを通して体験します。

### 【必要機器】

プロジェクタ用スクリーン

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

筆記用具

### 【受講される方にひとこと】

うまく描写できることだけが芸術ではありません。表現することを考えてみましょう。

## D-08 日々をデザインする

**講師** 田中 翔貴 (タナカ ショウキ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 デザインファンデーション 講師

**科目** デザイン実技I、アートプロジェクト2、写真演習(MCD)、デザイン実技II-3(MCD)

**可能日** 要相談

**形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

日々の生活の中で、みなさんが快適に過ごすためにはデザインが大きく関わっています。「デザインとは？」をテーマにした講義のあと、実際に日常をより良くするためのアイデアをグループワークで探ってもらいます。問題定義から問題解決に向けたデザインのプロセスを実際に体験します。

### 【必要機器】

プロジェクターもしくは大型モニター

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

### 【受講される方にひとこと】

日常の中の小さな問題に目を向けて考えてみよう。

## D-09 デザインの魅力

**講師** 萩原 周 (ハギハラ マコト)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース 教授

**科目** デザイン実技II、卒業研究

**可能日** 月、土曜日

**形式** 講義

### 講義内容

デザインについての理解を深めるための90分程度の講義。デザインとアートの差異や、近現代までのデザインが歩んだ歴史的な経緯を画像を紹介しながらわかりやすく解説します。

### 【必要機器】

液晶プロジェクター、投影用スクリーン

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

### 【受講される方にひとこと】

やや一般向けの内容ですが、デザインの辿ってきた大凡の道のりが優しく理解できるようにお話しします。

## D-10 デザインの「デ」の字

**講師** 萩原 周 (ハギハラ マコト)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース 教授

**科目** デザイン実技II、卒業研究

**可能日** 月、土曜日

**形式** 講義

### 講義内容

デザインの基本的な考え方(視点)を知る上でもっとも大切なことの一つとなる「多角的なものの見方」について、身近な道具の中からカッターナイフを例にとりて解説します。

### 【必要機器】

液晶プロジェクター、投影用スクリーン

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

### 【受講される方にひとこと】

デザインされたモノが、どんなに小さくてもその色やかたち、重さ、材質などが全て意図されてつくられていることがわかったら、見慣れた世界がまた新鮮に映るはずですよ。

## D-11 デザインで伝える「世界の見かた」

**講師** 小粥 千寿 (オガイチス)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース/メディアコミュニケーションデザインコース 准教授

**科目** デザイン実技・デザイン演習・卒業制作

**可能日** 月曜日、土曜日

**形式** 講義

### 講義内容

1つの物事でも、視点や編集の仕方によって、異なるストーリーを伝えることができます。デザインを使ったビジュアル表現による多様な「世界の見かた」を、国内外の事例とともに紹介します。

**【必要機器】**  
プロジェクター

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

**【受講される方にひとこと】**  
デザインが、複雑・多様化する世界を理解し、より良い社会を作っていくための道具となることを覚えてもらえればと思います。

## D-12 プロダクトデザイン

**講師** 後藤 規文 (ゴトウノリフミ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 インダストリアル&セラミックデザインコース 教授

**科目** プロダクトデザイン、デザインプランニング

**可能日** 月、金曜日

**形式** 講義

### 講義内容

プロダクトデザイナーの役割について、具体的な事例を交えながら紹介し、ものづくりにデザインが必要とされる理由を解説しながら、プロダクトデザインの基礎について学びます。

**【必要機器】**  
液晶プロジェクター

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

**【受講される方にひとこと】**  
「カッコいい形」だけがデザインではありません。

## D-13 モビリティデザイン

**講師** 田中 昭彦 (タナカアキヒコ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 カーデザインコース 教授

**科目** デザイン領域演習、デザイン実技、デザインリテラシー、デザイン概論

**可能日** 金曜日

**形式** 講義、実技

### 講義内容

モビリティの歴史と進化を事例を交えながら紹介し、モビリティデザインの意味とその魅力を学びます。講義後、簡単なデザインスケッチの制作も行います。

**【必要機器】**  
大型モニター

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
筆記用具

**【受講される方にひとこと】**  
移動する事が生み出す楽しさやその価値を再認識してください。

## D-14 空間デザイン

**講師** 西岡 毅 (ニシオカツヨシ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース 講師

**科目** デザイン実技 (建築・インテリア) その他

**可能日** 月曜日・土曜日

**形式** 実技ワークショップ

### 講義内容

空間デザインの基礎である、住まいを想像し、生活シーンからより良い生活を行うにはどんな空間が心地がいいのかを、簡単な模型を作りながら、アイデアの出し方、表現の仕方を学んでいきます。

**【必要機器】**  
プロジェクター、模型制作環境、模型用画材 (ボール紙・スチレンボード、ヤスリ、パルサ)

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
模型制作道具 (カッター・ノリ (ボンド)・カッターマット・サインペン)

**【受講される方にひとこと】**  
日常をより楽しく生活するには?というような事を一緒に考えてみましょう。

## D-15 デザインリサーチ

**講師** 服部 隼弥 (ハットリシュンヤ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース 講師

**科目** デザイン実技 (建築、インテリア) 他

**可能日** 月曜日・土曜日

**形式** 講義

### 講義内容

デザインの入り口であるリサーチワークにフォーカスします。身の回りの物事に改めて着目し多角的な視点で捉へ、新たなアイデア展開へと繋げるデザインならではの視点を学びます。

**【必要機器】**  
プロジェクター、スクリーン

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

**【受講される方にひとこと】**  
見慣れた場所や物、視点を変えるだけで新たな魅力に出会えます。デザインの醍醐味に触れるひと時を、皆さんで味わいましょう。

## D-16 テキスタイルデザイン：ポテトプリントによるリピート スタディ

**講師** 扇 千花 (オオギチカ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 テキスタイルデザインコース 教授

**科目** デザイン実技

**可能日** 要相談

**形式** 実技

### 講義内容

単体の図像がいかにして「連続する模様」へと変化するのか。そのプロセスを、ポテトプリントという簡潔な方法を通して探求します。規則的な並び(送り)のルールを理解し、無限に広がる布のデザインを体験しましょう。

**【必要機器】**  
机、流し

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
筆記道具、彫刻刀、絵の具道具一式、じゃがいも1個

**【受講される方にひとこと】**  
テキスタイルは、心に働きかけるデザインです。空間を彩り、心に寄り添う布の世界。ポテトプリントという簡潔な方法を通して、模様が繰り返される楽しさを体験しましょう。

## D-17 平面から立体へ

**講師** 米山 和子 (コネヤマ ヨリコ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 工芸コース 教授

**科目** デザイン実技I～IV、クラフトデザイン研究他

**可能日** 月、土曜日

**形式** 実技、ワークショップ

### 講義内容

紙は平面ですが、折る・切ることで立体に変化します。紙の形が変化して出来る視覚効果の面白さを体感し、その発想を他の表現にも応用する力を育てるワークショップです。

**【必要機器】**  
プロジェクター又は大型モニター

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
ハサミ、カッター、カッターマット、セロテープ、A4コピー用紙5枚

**【受講される方にひとこと】**  
立体や空間のセンスは誰でも伸ばす事が出来ます。

## D-18 ここにしかない世界にひとつだけの映画づくり

**講師** 酒井 健宏 (サカイ タケヒロ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 准教授

**科目** 映像論 メディア論 デザイン実技 現代芸術と文化

**可能日** 事前にご相談下さい可能な限り調整致します。

**形式** ワークショップ

### 講義内容

映像制作は難しそうに思えるかもしれませんが実はすごくシンプルです。みんなのアイデアを組み合わせ、スマホのカメラと一緒に動画を撮ってみよう。ここにしかないたったひとつの映画をつくる。考える楽しさを体験しよう。

**【必要機器】**  
プロジェクター、スクリーン、スマートフォンまたはタブレット端末

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

**【受講される方にひとこと】**  
考えたことを動画で表現する機会が増えました。見ることと、見せること。コミュニケーションの手段として、ますます重要なものになっていくでしょう。

## D-19 作ることで考える

**講師** 加藤 良将 (カトウ ヨシマサ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 講師

**科目** コンピュータ表現基礎、情報デザイン論、デザイン実技

**可能日** (前期) 火曜日 (後期) 月曜日

**形式** 実技、ワークショップ

### 講義内容

iPadと接続してセンサーやモーターなどのプログラミングにより制御できる機器を使い、世の中のものごがどのように作られているのか、さらに便利に発展させるためにはどのような工夫ができるかを考え、実際に動くものを作り理解を深めます。

**【必要機器】**  
プロジェクター、スクリーン

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

**【受講される方にひとこと】**  
世の中の便利なものごがどのような意図を持ってデザインされているか、周りのものをよく観察するように生活してみてください。

## D-20 コードでつくる映像表現

**講師** 大久保 拓弥 (オオクボ タクヤ)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 講師

**科目** 映像とメディア、デザイン実技、デザイン演習、先端基礎実技

**可能日** 月曜日、水曜日 (要相談)

**形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

プログラミングを「表現」の道具として扱い、インタラクティブな映像表現を制作します。Processingによるリアルタイムビジュアライズを通して、デザイン・アート・テクノロジーを横断する創造的な制作体験を行います。

**【必要機器】**  
コンピューター、プロジェクター (大型モニター)

**【受講者に事前に準備していただきたい内容】**  
特になし

**【受講される方にひとこと】**  
プログラミングを表現の道具として楽しみながら、映像表現を体験していきます。動きや色を自由にコントロールしながら、自分だけのビジュアル作品を制作してみましょう！

## D-21 絵画ヘラブレター

**講師** 村田 仁 (ムラタ ジン)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授

**科目** デザイン基礎演習E、文芸実技1-1 (小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作

**可能日** (前期) 火・水曜日 (後期) 火・水曜日 **形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

好きな絵画作品に向けて、ラブレターとしての詩を綴るワークショップ。絵画から受ける「色」「物語」「私との関係」などを書き出し、詩作を行う。参加者が絵画に向けて詩を読む朗読会を最後に行ない、完成とします。

### 【必要機器】

プロジェクター、パソコン、スキャナー、デジカメ、マイク、音響機器、便箋

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

好きな絵画作品の画集、筆記具

### 【受講される方にひとこと】

画家ではなく、絵画へ綴るかたちで、知識ではなく感覚を言葉にしていって創造の楽しさを目的としたワークショップです。

## D-22 図書館の森で迷子を楽しむ

**講師** 村田 仁 (ムラタ ジン)

**コース** 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授

**科目** デザイン基礎演習E、文芸実技1-1 (小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作

**可能日** (前期) 火・水曜日 (後期) 火・水曜日 **形式** 実技・ワークショップ

### 講義内容

学校の図書館を舞台に行う詩作ワークショップ。ルーレットで当たった ジャンルの本棚に行くなど、普段は出会うことのない本に会う機会をつくり、言葉を引用し詩作します。最後は参加者が本を紹介しあい、詩を読みます。

### 【必要機器】

マイク、音響機器

### 【必要な環境】

図書館での開催

### 【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

### 【受講される方にひとこと】

検索で情報にすぐたどり着くことができる現代ですが、迷子を経ることではか得ることのできないものもあるのではないのでしょうか。図書館は迷うことを許してくれる豊かさをもっているはず。詩作にある豊かさも、それと重なるものです。